

「中長期的な政策課題等の検討に向けた調査委託」に関するプロポーザル に係る提案書評価基準

表1の評価項目及び重みづけのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。

採点が同点の場合は、評価事項のうち、提案内容の評価点の合計点数で再評価を行い、受託候補者を特定します。

表1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	倍率	評価点
予定技術者の 経験及び 業務実施能力 (25点)	現場 責任者	現場責任者が本業務に生かすことのできる過去の実績を有しているか ※本業務に生かすことのできる業務実績については、「過去5年間（平成27年4月1日から令和2年3月31日まで）に、国、都道府県、政令市、特別区または中核市において、中長期的な目標や政策課題の設定のための自治体の強み・弱みの分析に係る業務について、現場責任者として携わった実績」とする。	15		× 3	
	担当 技術者	担当技術者が担当する分担業務に生かすことのできる過去の実績を有しているか ※本業務に生かすことのできる業務実績については、「分担業務の過去の同種又は類似業務実績」とする。	10		× 2	
提案内容 (85点)	実施方針	実施方針が的確で、業務説明資料との整合が取れているか	10		× 2	
	特定課題	2040年を展望して取り組むべき方向性の検討に向け、現在の本市を取り巻く状況に係るデータを収集、分析する際の視点が的確であり、分析手法が有効なものとなっているか	15		× 3	
		2040年頃にかけて市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼすと考えられる変化のうち、本市が取り組むべき方向性を検討する上で特に考慮すべき変化を抽出する際の視点が的確であり、抽出手法が有効なものとなっているか	15		× 3	
		2040年頃にかけて市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼすと考えられる変化のうち、本市が取り組むべき方向性を検討する上で特に考慮すべき変化を見据えた場合に、本市の強み、弱みを分析する際の考え方が的確であり、分析手法が有効なものとなっているか	20		× 4	
		業務内容を正確に理解しているか	15		× 3	
		取組意欲が感じられるか	10		× 2	
ワーク・ライフ・バランスに関する取組 (6点)	次の項目について1つ満たすごとに1点加算 □次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） □女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員301人未満の場合のみ加算） □次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 □女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 □若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 □よこはまグッドバランス賞の認定の取得		6		× 1	
評価点の合計（116点満点）						

- (1) 予定技術者の経験及び業務実施能力は、A、B、Cの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容は、A、A'、B、B'、Cの5段階評価を行う。
- (3) 予定技術者の経験及び業務実施能力、提案内容、ヒアリング内容の評価については、次のように点数化を行い、項目ごとの倍率を乗じ評価点を算出する。

評価	A	A'	B	B'	C
評点	5点	4点	3点	2点	0点

- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組の評価については、表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容においてC評価のある者は原則として選定しない。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価				
			A	A'	B	B'	C
予定技術者の経験及び業務実施能力	現場責任者	現場責任者が本業務に生かすことのできる過去の実績を有しているか	複数の実績がある		実績がある		実績がない
	担当技術者	担当技術者が担当する分担業務に生かすことのできる過去の実績があるか	担当技術者全員が実績を有する	担当技術者の8割以上が実績を有する	担当技術者の半数以上が実績を有する	担当技術者の3割以上が実績を有する	担当技術者のいずれも実績を有さない
提案内容	実施方針	実施方針が的確で、業務説明資料との整合が取れているか	十分な理解に基づいた的確な提案である	理解に基づいた的確な提案である	どちらもいえない	理解がやや乏しい提案である	理解が乏しい提案である
	特定課題	2040年を展望して取り組むべき方向性の検討に向け、現在の本市を取り巻く状況に係るデータを収集、分析する際の視点が的確であり、分析手法が有効なものとなっているか	非常に的確な視点を持った有効性の高い優れた手法である	的確な視点を持った有効性の高い手法である	どちらもいえない	視点の的確性や手法の有効性がやや欠けたものである	視点の的確性や手法の有効性が欠けたものである
		2040年頃にかけて市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼすと考えられる変化のうち、本市が取り組むべき方向性を検討する上で特に考慮すべき変化を抽出する際の視点が的確であり、抽出手法が有効なものとなっているか	非常に的確な視点を持った有効性の高い優れた手法である	的確な視点を持った有効性の高い手法である	どちらもいえない	視点の的確性や手法の有効性がやや欠けたものである	視点の的確性や手法の有効性が欠けたものである
		2040年頃にかけて市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼすと考えられる変化のうち、本市が取り組むべき方向性を検討する上で特に考慮すべき変化を見据えた場合に、本市の強み、弱みを分析する際の考え方が的確であり、分析手法が有効なものとなっているか	非常に的確な考え方をを持った有効性の高い優れた手法である	的確な考え方をを持った有効性の高い手法である	どちらもいえない	考え方の的確性や手法の有効性がやや欠けたものである	考え方の的確性や手法の有効性が欠けたものである
		業務内容を正確に理解しているか	十分理解している	理解している	どちらもいえない	やや理解していない	理解していない
		取組意欲が感じられるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらもいえない	意欲がやや認められない	意欲が認められない
ワーク・ライフ・バランスに関する取組	表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。						